



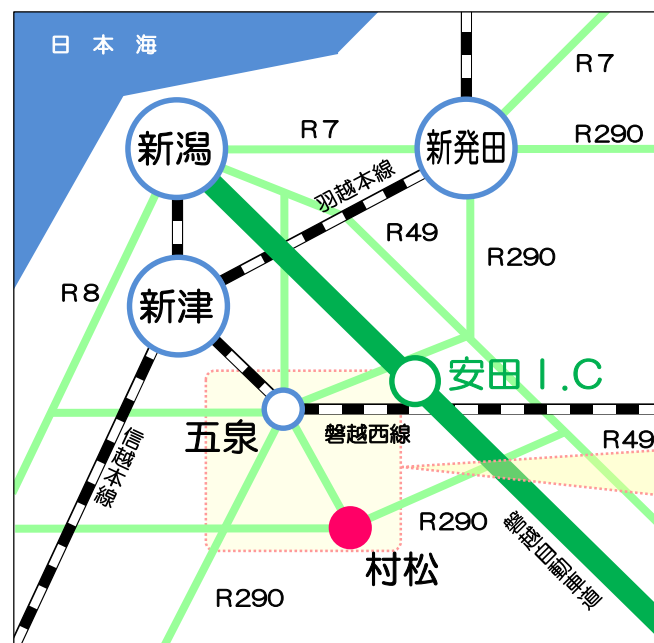
医療法人社団真仁会 南部郷厚生病院 緩和ケア病棟「郷和」

〒959-1765 新潟県五泉市愛宕甲2925番地2
 TEL : 0250-58-6111(代表) FAX : 0250-58-7300
 0250-58-6222(直通)
 メールアドレス nanbupcu@sinjinkai.or.jp
 ホームページ <http://www.sinjinkai.or.jp/kanwa/>



南部郷厚生病院 さとわ 緩和ケア病棟「郷和」 のご案内

交通のご案内



- 【お車でお越しの方】磐越自動車道「安田I.C」より車で五泉経由約20分
- 【電車でお越しの方】五泉駅よりタクシーで約15分
- 【バスでお越しの方】新潟駅より高速バスで村松駅前バスターミナルまで約65分、そこからタクシーで約5分

～大切なことは、
 「どれだけ生きるか」より
 「どのように生きるか」～

身体のケアと心のケアは一体です。



緩和ケア病棟とは

がんやその治療に伴う苦しみを和らげるための病棟です。一般病院は、治癒を目的とした施設であるために、検査や診断、治療を積極的に行いますが、緩和ケア病棟では、疼痛緩和などの症状コントロール、在宅療養に向けた調整、疲れのたまったご家族に一時休息をとってもらう目的での入院を受け入れています。

がんは身体だけでなく心の健康をも奪ってしまいます。身体の諸症状が緩和され、おだやかに充実したあたたかさに包まれた毎日を過ごして頂きたい。

私たちはそんな思いで患者さまと、ご家族に寄り添い喜怒哀楽をともにし、ケアさせていただきます。

緩和ケア病棟「郷和」理念

1. 豊かな自然環境の中で、その人の気持ちに添ったケアを提供するとともにその家族を支援する。
2. その人のもつ苦痛の緩和につとめる。
3. その人の希望に添って自宅での生活を支える。

かけがえのない生命だからこそ、
最後まで充実した日々を。



緩和ケア病棟「郷和」の特徴

当病棟は南部郷厚生病院に併設されており、治療が困難ながん患者さまとご家族に緩和ケアを提供します。
痛み・身体のだるさなどの症状を和らげる治療を行うとともに、不安・抑うつなどの心のケアを積極的に行います。

四季折々の豊かな自然に囲まれた環境にある当病棟では、患者さまの生活スタイルを尊重するため、病室はすべて個室で、できるだけご自宅での生活に近い形で過ごしていただけるよう、家庭的な雰囲気を保つことを重視しています。

また、入院後症状が落ち着いたとき、患者さまがご自宅での療養をご希望なら、地域の医療、看護、介護福祉と連携をとり、在宅療養をサポートいたします。在宅療養している方で苦痛が強くなった時に入院し、苦痛がコントロールできたら再び在宅に戻ることも可能です。

人は必ず死を迎えます。緩和ケア病棟と聞くと「死ぬところ」というイメージを持たれる人が多いと思います。しかし、緩和ケア病棟は、生きて死を迎えるその瞬間まで、あなたがあなたらしく生きることを支えるところなのです。そして、たとえあなたが亡くなったとしても残された家族をも支えるところです。

患者さまが辛いのはもちろんですが、辛そうにしている患者さまを目の当たりにしているご家族も、本当に心が痛むことと思います。患者さまの苦痛の緩和は最優先に行いますが、患者さまの苦痛が和らぐことで、見守るご家族にもゆとりが生まれます。ゆとりをもてるようになって初めて、お互い何がしたいかを考えることができるようになるのです。それが最後まであなたらしく生きることに繋がります。

入院までの流れ

電話相談

当院代表電話
(0250-58-6111)
まで電話にてご連絡ください。医療相談員がお話を伺います。

緩和ケア外来予約

「緩和ケア外来」の
受診日を調整し、連絡致します。
病院見学ご希望の方は申し
出てください。

緩和ケア外来受診

外来受診日当日は、診療情報提供書、直近の画像及び検査データをご持参ください。病院見学ご希望の方はご案内いたします。

入院判定

医師、看護師などの緩和ケア病棟スタッフにより入院可否について検討させていただきます。

結果のご連絡

入院判定の結果を、ご家族又は入院中の医療機関にご連絡させていただきます。

受け入れのご案内

受け入れ準備が整い次第、入院のご案内をさせていただきます。

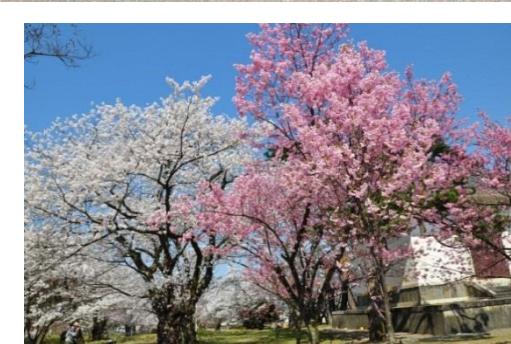
和らぎの日々を四季の 豊かな自然に囲まれて。



緩和ケア病棟「郷和」前の桜並木



村松公園の紅葉



●村松公園の桜



●緩和ケア病棟「郷和」入口



●穂咲彼岸八重桜

周辺の環境

病棟の目の前には日本さくら名所100選に選ばれた村松公園があります。
約3000本の桜が咲き誇り、その中に「日本一」と呼ばれる
穂咲彼岸八重桜など貴重な桜もあります。

秋には真っ赤なもみじで鮮やかな紅葉に彩られ四季折々の景色を楽しむことができ
「にいがた景勝100選」にも選出されています。

憩いの間からは菅名・大蔵・鳴沢連山を一望できます。

また、病棟からすぐにスーパーマーケット、車で5分のところにコンビニなどあり
生活上の利便性も整っております。



憩いの間からの景色

病院にいることを忘れさせる存在、 社会から吹く風。



定期的なイベントの開催

患者さまやご家族に安らぎの時間を提供するため定期的にイベントを開催しています。イベントの内容はコンサートや様々なショー、季節ごとの行事など行っております。



ご家族さまからの手記

亡くなったのは父の誕生日の前日でした。緩和のスタッフの皆様に囲まれ、一日早い誕生日祝をして頂いたとき、にっこりと頬笑んだそうです。「愛情と交流」の中、幸せな人生だったと思っています。

日々やせ衰えていきましたが、顔や気持ちはとても穏やかでこれで良かったと確信できました。亡くなった時の喪失感は深いものがありますが、その一方で後悔ないように精一杯看てきたという充実感のようなものを感じられました。

ベッド毎の散歩など思いつきもしませんでした。穏やかな顔で旅立っていくことができました。まるで手を振ってバイバイと言っているような幸せそうな顔でした。

患者をみるにも、ご自分の体調が良く、心にゆとりがなければ真に優しい心からの看病はできません。「郷和」は素晴らしいスタッフばかりです。

最初、緩和ケア病棟に対して、強い抵抗感を持っていた母ですが、スタッフの皆さまのおかげで母にとっても私たちにとっても郷和は、船出のための最善の岸辺であったと感謝しております。

病室をまるで家のように思っていました。それほど居心地良かったのだと思います。

ボランティア

患者さまが住み慣れた我が家のようにその人らしく生活できる環境を提供するためには、社会との繋がりが重要です。

ボランティアは日々、お花を生け、観葉植物や花壇の手入れ、お茶のお世話や病棟行事を支えています。医療スタッフとは違う空気でお患者さまやご家族により身近な存在となります。当病棟のボランティアはボランティア養成講座を受講しており、患者さまに寄り添い共に歩いていくことを基本としています。

寡黙で優しく心地よい風のように病棟内に新鮮な空気を運んでくれます。病棟内に外の風を入れ、患者さまがそばに居るだけで和やかな気持ちになっていただけるよう活動しております。

